

# OR

提供: ExcelPedia

## 概要

論理値 TRUE (真) または FALSE (偽) を返すワークシート関数です。引数には複数の論理値 (または複数の論理式) を使用し、いずれかの論理が成り立つかどうかを評価します。

## 書式

`OR(論理式1,論理式2,・・・)`

## 引数の説明

### 論理式

結果が TRUE または FALSE になる論理式、もしくは論理値とみなされる値を指定します。1～30個まで指定できます。引数のいずれかがTRUEの時に、論理値TRUEを返します。

## 使用例

OR関数使用例

	A	B	C	D	E
1				=IF(OR(A1="かめ",A2="かめ"),"両方かもし	
2	かめ	4		くはどちらかが「かめ」,"全て「かめ」で	
3				はない")	
4	うさぎ	6			
5		2			
6		9			

表のセル部分のみコピーし、ワークシートに貼り付けて、試すことができます。  
Internet Explorer 普通に貼り付け / Firefox [形式を選択して貼り付け]-[テキスト]

# 関連項目

関数/論理関数

「<http://localhost/mwiki/index.php/OR>」より作成

カテゴリ: 関数

---

- このページの最終更新は 2012年12月4日 (火) 13:34 に行われました。